



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 共立印刷株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7838 URL <https://www.kyoritsu-printing.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 景山 豊  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理統括 (氏名) 田坂 優英 (TEL) 03-5248-7800  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	27,395	3.5	1,145	171.9	1,042	263.4	684	—
2021年3月期第3四半期	26,467	△19.8	421	△44.2	286	△49.1	△853	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 617百万円( —%) 2021年3月期第3四半期 △596百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	15.04	15.00
2021年3月期第3四半期	△18.80	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	43,226	15,973	36.9
2021年3月期	43,917	15,446	35.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 15,931百万円 2021年3月期 15,385百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	2.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	3.4	1,400	91.8	1,250	126.7	730	—	16.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	49,020,000株	2021年3月期	48,905,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	3,481,550株	2021年3月期	3,481,550株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	45,503,950株	2021年3月期3Q	45,402,450株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(収益認識関係)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないなか、電力燃料費や原材料費などの高騰により企業活動や個人消費に力強さが戻らず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした環境のなか当印刷業界におきましては、集客媒体である折込チラシの縮小や旅行・飲食関連媒体の受注量がコロナ禍以前の状況に戻らず、インターネットを利用した様々なサービスに転換され、市場全体の縮小傾向が続いており、大変厳しい経営環境にあります。

このような状況下にあって当社グループは、2022年1月24日に開示しましたように、持株会社体制への移行を検討開始し、既存印刷事業の品質保証や構造改革にたゆまなく取り組むとともに、デジタル事業や生分解性プラスチック製造など事業領域の拡充により、グループ全体の企業価値向上に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が前年同四半期と比べ9億2千7百万円(3.5%)増収の273億9千5百万円、営業利益は前年同四半期と比べ7億2千4百万円(171.9%)増益の11億4千5百万円、経常利益は前年同四半期と比べ7億5千5百万円(263.4%)増益の10億4千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億8千4百万円(前年同四半期は8億5千3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)になりました。

## (売上高)

売上高は前年同四半期と比べ9億2千7百万円(3.5%)増収の273億9千5百万円になりました。

商業印刷につきましては、前第1四半期に大きく減少しました折込チラシの緩やかな回復に加えて、通販カタログ類の受注量が増加したことなどにより、前年同四半期と比べ9億2千2百万円(4.2%)増収の228億4千7百万円になりました。

出版印刷につきましては、旅行関連情報誌の受注環境は引き続き厳しいなか、電子コミックのカラーリング事業についても前期比で受注量が減少しており、前年同四半期と比べ1億5千9百万円(3.7%)減収の41億5千8百万円になりました。

## (営業利益)

営業利益は前年同四半期と比べ7億2千4百万円(171.9%)増益の11億4千5百万円になりました。これは、前期より取り組んでおります事業構造改革によるコスト削減や生分解性プラスチックフィルムの製造効率向上に取り組むなか、グループ全体で品質を重視した企業体制を構築したことが功を奏したことによります。

## (経常利益)

経常利益は前年同四半期と比べ7億5千5百万円(263.4%)増益の10億4千2百万円になりました。これは、営業利益が回復したことなどによります。

## (親会社株主に帰属する四半期純利益)

親会社株主に帰属する四半期純利益は6億8千4百万円(前年同四半期は8億5千3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)になりました。これは、経常利益が回復したことなどによります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、242億4千4百万円となりました。これは、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したものの、棚卸資産が増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、189億8千1百万円となりました。これは、建物及び構築物やリース資産が減少したものの、株式会社今野を子会社化したことでのれんが増加したことなどによります。

これらの結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、432億2千6百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、151億1千6百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3.0%減少し、121億3千6百万円となりました。これは、長期借入金が増加したものの、リース債務が減少したことなどによります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.3%減少し、272億5千2百万円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、159億7千3百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月24日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通り、売上高は当初の予想通りとなりますが、営業利益については、前期より取り組んでおります事業構造改革によるコスト削減やデジタルコミック事業の拡充、生分解性プラスチックフィルムの製造効率向上により、想定を上回る見込みとなり、それにより当初見込んでいた資金需要を抑えることができ営業外費用が減少したため、経常利益につきましても想定を上回る見込みとなり、修正を行いました。

当連結会計年度(2022年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高380億円、営業利益14億円、経常利益12億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益7億3千万円を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,674,737	14,214,000
受取手形及び売掛金	8,022,036	7,247,267
電子記録債権	1,027,907	1,066,396
棚卸資産	1,087,264	1,382,687
その他	315,827	352,983
貸倒引当金	△19,712	△18,495
流動資産合計	25,108,060	24,244,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,124,420	5,915,986
土地	6,017,007	6,198,296
リース資産(純額)	2,623,718	2,331,019
その他(純額)	1,407,826	1,407,924
有形固定資産合計	16,172,973	15,853,226
無形固定資産		
のれん	269,336	575,575
その他	199,618	211,170
無形固定資産合計	468,954	786,746
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	11,541	16,047
その他	2,176,599	2,345,626
貸倒引当金	△20,733	△20,428
投資その他の資産合計	2,167,408	2,341,245
固定資産合計	18,809,337	18,981,218
繰延資産	-	314
資産合計	43,917,397	43,226,374

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,116,539	4,167,603
電子記録債務	3,735,672	3,819,992
短期借入金	210,000	-
1年内返済予定の長期借入金	4,625,142	4,762,827
リース債務	961,484	816,705
未払法人税等	91,834	394,674
賞与引当金	189,218	95,365
その他	1,028,158	1,059,372
流動負債合計	15,958,051	15,116,540
固定負債		
長期借入金	8,805,664	9,111,164
リース債務	2,825,203	2,111,873
退職給付に係る負債	809,677	821,875
資産除去債務	34,564	35,040
その他	38,110	56,449
固定負債合計	12,513,220	12,136,401
負債合計	28,471,271	27,252,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,364,862	3,374,740
資本剰余金	3,358,992	3,368,870
利益剰余金	8,553,158	9,146,388
自己株式	△700,023	△700,023
株主資本合計	14,576,989	15,189,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	779,645	709,753
退職給付に係る調整累計額	28,721	31,597
その他の包括利益累計額合計	808,367	741,350
新株予約権	60,769	41,070
非支配株主持分	-	1,035
純資産合計	15,446,126	15,973,432
負債純資産合計	43,917,397	43,226,374

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	26,467,306	27,395,172
売上原価	23,544,058	23,966,515
売上総利益	2,923,247	3,428,656
販売費及び一般管理費	2,502,062	2,283,293
営業利益	421,185	1,145,362
営業外収益		
受取配当金	31,281	33,471
産業立地交付金	-	11,559
その他	10,368	7,979
営業外収益合計	41,650	53,010
営業外費用		
支払利息	170,176	150,341
その他	5,790	5,422
営業外費用合計	175,967	155,763
経常利益	286,868	1,042,609
特別利益		
固定資産売却益	273	55,657
新株予約権戻入益	2,513	58
その他	49	700
特別利益合計	2,836	56,416
特別損失		
固定資産除却損	38,571	18,101
事業構造改善費用	967,992	-
特別損失合計	1,006,564	18,101
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△716,859	1,080,924
法人税等	136,580	396,581
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△853,440	684,342
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	35
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△853,440	684,307



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△853,440	684,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252,383	△69,892
退職給付に係る調整額	4,623	2,876
その他の包括利益合計	257,007	△67,016
四半期包括利益	△596,433	617,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△596,433	617,291
非支配株主に係る四半期包括利益	-	35

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

#### ○税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

当社及び連結子会社は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第30号 2020年3月31日)(以下「収益認識会計基準等」という。)の適用に伴い、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。この結果、利益剰余金の当期首残高、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

また、顧客に支払われる対価については、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。この変更により四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

当社及び連結子会社は、「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(収益認識関係)

## 売上高の情報並びに収益の分解情報

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		対前年同四半期	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	千円	%	千円	%	千円	%
商業印刷	21,924,537	82.8	22,847,108	83.4	922,570	4.2
出版印刷	4,317,965	16.3	4,158,203	15.2	△159,761	△3.7
その他	224,802	0.9	389,860	1.4	165,057	73.4
顧客との契約から生じる収益	26,467,306	100	27,395,172	100	927,866	3.5
外部顧客への売上高	26,467,306	100	27,395,172	100	927,866	3.5